
ギャー君となじお

倉石 徹

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ギャー君となじお

【Nコード】

N6965D

【作者名】

倉石 徹

【あらすじ】

10才の女の子なじおと猿のギャー君の笑いあり悲しみありの友情物語

第一話

ギヤー君は猿だが話せる猿だ。

なじおが飼っていて、

何時も一緒にいる。

「お腹空い

たなじ」なじおは10才女の子だ。

家族はパパオとママオとおねなじ（12才）の4人家族で、海の近くに住んでいる。ギヤー君はパパオがクリスマスに、なじおにプレゼントした……

それ以来日本語を教え続けて、

今では立派に話せる様になって、家族の一員だ。

ママオは怒りっぱいが、ギヤー君が喋るとママオも怒らなくなり笑い出す。ギヤー君は男の子でやたらとチンチンがデカい。猿だから洋服を着ていないので、ついついそこに目がいつてしまう。

しかもギヤー君はどこことなくパパオに似ているから、ママオもチビパパオだと思いき笑い出す……ギヤー君は朝が弱いからなかなか起きて来ない、ママオやパパオ、おねなじが起きると言ってもびくともしない……でもなじおが「ギヤー朝ご飯なじ、起きろなじ」と言つと起きて来るから不思議だ。ギヤー君は眠そうな顔をして目をこすりながら起きて来た。

朝ご飯はバナナ、美味しそうにたべる。

なじおはご飯好きだが、おねなじはパンが好き、ママオも両方作るから大変だ。「行ってきまーす……」

みんなが出かけ、ギヤ

ー君はなじおの部屋で帰ってくるのを待つ……今日は何時もよりなじおの帰りが遅い、ギヤー君は心配になって

「なじおはまだかギヤー」とママオに聞くと

「今日は部活があるから遅いわよ」「ギヤー君はシヨンボリして、玄関に座り込んだ。ピンポン……」

「なじお

だギヤー……」

急いで鍵を開けると、先に帰ってきたのは、

おねなじだった。

「オオ……ギヤーどう

した？」

「なじおがまだギ

ヤー……」

「もう直ぐ帰って来るよ」おねなじはギヤールの頭を撫でた。それから30分位経って、

「ピンポンピンポンピンポン」

この鳴ら

しかたはなじおだ……………」

ギヤ

ー君は笑顔でドアを開ける。

「た

だいまなじ……………」

「お帰

りなさい……」ギヤールが首を長くして、ずーっと待っていたわよ

「ギヤールゴメン……ゴメン部活だったから」

なじおとギヤ

ーは仲良くおやつのかき氷を食べて楽しそうに話をしている……………」

「ギヤール、今日はお風呂入る

ぞなじ」

ギヤールはお風呂が嫌いだから、た

まになじおが強引にシャワーをさせるのだ。「ギヤール……ギヤール」ギ

ヤール君は横にブルブル首を振る。

「ママオに言うぞなじ……………」

「でもギヤール君は目に涙を浮かべて嫌がっている。

なじおは涙に弱い

「わかったわかったなじおタオルで拭き拭きだけなじ」ギヤールはニッコリと笑い、なじおにチュウを何度もした。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6965d/>

ギャー君となじお

2010年10月21日23時59分発行